わっかない市議会だより

平成12年2月1日
第90号

サハリンとの交流に一役
異国情緒あふれる「稚内サハリン村」
1月31日惜しまれて閉村

発行　稚内市議会
編集　編集委員会
電話　23-6161番（代表）
内線 281

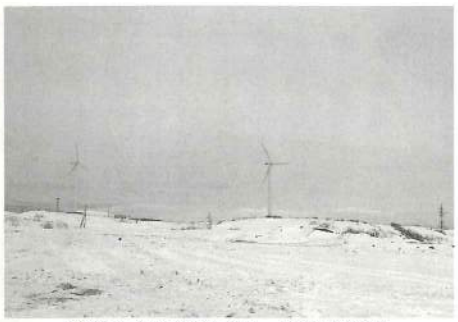
十二月定例会
一般質問から

各会派を代表して7人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

市民クラブ　藤谷良幸議員

街のイメージについて

質問　稚内のイメージとして「何もない街」というのを耳にすることが多い。しかし、悪い印象で言われているのではないとしても、街のインパクトとしては少々物足りない。そこで、稚内公園・大沼の風力発電、さらに今後計画されているサラキトマナイや宗谷丘陵の風力発電などを生かし、風車の街として考えていくべきと考えるが、市長の見解を伺う。



期待される街のイメージ風力発電

答弁　現在、市内には3基の風力発電施設が稼働しており、来年度は3基、平成13年度には20基の建設が予定されている。このように風車がまちづくりのキーワードになりつつあるが、具体的にどのように活かされ、浸透しているかというと疑問の残るところである。これまでも広報紙等で積極的にPRを行ってきたが、今後、市民各層の意見も参考にし、また、民間の方々の積極的な取り組みにも期待している。

町内会館の有効活用について

質問　本市の各町内会館の現状として、葬儀が中心となっており、葬儀が入ると他の行事計画を変更するなど多少ならず影響を与えている。また、年に数回の葬儀のために多額の費用をかけ改修しなければならないのは疑問に感じる。したがって、今後の町内会館の在り方や有効利用策について、市長の見解を伺う。

答弁　町内会館は地域住民の自主的な活動や高齢者の交流など地域のコミュニティ活動の場として有効に利用されているが、葬儀が優先となり計画的な行事が行いづらくなっていることは認識している。今後、益々各町内が計画的に使用できる施設が必要と考え、町内会館の在り方や広域的な複合施設の建設を含めて検討していく。

その他の質問事項

- 行政改革の今後
- 公共施設のトイレ整備

民主クラブ　長谷川喜市議員

コンピュータ西暦2000年問題について

質問　西暦2000年が間近に迫っているなかで、各マスコミが国内の金融、交通、電気、コンピュータ会社、外国の取り組み等、いわゆるコンピュータ2000年問題を連日報道している。当然、本市も何らかの対策は必要となってくるが、❶市の危機管理計画はどうなっているか。❷対策本部を設置する際、稚内市地域防災計画の準用は考えているか。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁　❶市の関係部署においては、11月末までに保有システム等の点検を終えており、また、電気・通信・交通機関については各事業者が対応を進めている。したがって、市民生活に重要な支障をきたすことはないと認識しているが、万一、問題が発生した場合、各機関と連携をとりながら迅速かつ的確な対応を行い、住民生活に及ぼす影響を最小限にとどめていく。❷コンピュータ2000年問題については、稚内市地域防災計画に定める災害対策本部を設置し対応することにしている。

THE HOPPO JOURNALの記事について

質問　現在まで、同誌に2回の記事が掲載されており、次号にも掲載の予告がされている。私は市長が一方に片寄らず一部の利益追求に加担せず公正に行政を行っていると信じているが、今回の記事に対し見解を明らかにするべきではないか。また、道に副申書を提出した経過について、市長の見解を伺う。

答弁　私は、一方に片寄らず、一部の利益追求に加担せず、公明正大を旨として市民生活の向上を願って行政を担わせて頂いている。同誌の記事の内容の中では、稚内市長として副申書を提出したこと

二〇〇〇年　年頭のあいさつ

稚内市議会議長　河合慎一

稚内市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい、平成十二年の初春を皆様とともに迎え謹んでお慶びを申し上げます。

市民の皆様には、昨年一年間、議会活動に対し深い御理解と力強い御支援を賜り、深甚なる感謝を申し上げます。

我が国経済は、バブルが崩壊してから十年が経過し、大手銀行による相次ぐ合併、民間企業の大リストラ案の発表等経済情勢は、依然として深刻な状況が続いており、稚内市においてもその影響を大きく受け、財政を圧迫しているところでございますが、市民の皆様の要請に応え、年々増加する行政需要に適切に対応するため、その使途につきましては、有効適切にして、最大の行政効果を上げるよう、行・財政の運営、改革に取り組んでいるところであります。

今後とも、我々市議会は常に市民の立場に立ち、議会に課せられた使命を認識し、市民の声を行政に反映させていきたいと思っております。

どうか市民の皆様、これからも絶大なる御支援をくださいますようお願い申し上げます。

本年一年間、稚内市民の皆様が、御健勝で御活躍されますよう、心よりお祈り申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。

は事実であるが、私に対する誹謗・中傷的な部分については全くの事実無根であり、全面的に否定させていただく。以下次号となっているので、その内容によっては顧問弁護士とも相談して、しかるべき処置を講じたいと考えている。また、副申書は児童の健全育成と健康増進を図る上で、必要な子供の遊び場が増える等から、設置について反対する理由がないと判断し提出した。

その他の質問事項

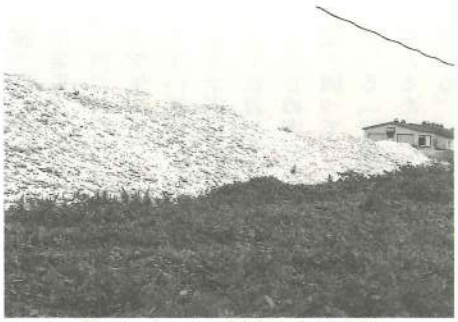
- 季節労働者の雇用安定化
- 市有地管理方法
- ゴミ問題
- 酪農の糞尿処理問題

公明党 館農恒一議員

3ゼロ社会を目指して（ごみ・ゼロ）

質問 現在、一般廃棄物処理についてを国の審議会で審議しており、本市にとっても基幹産業発展のためには避けて通ることのできない問題であるが、❶第3次稚内市総合計画で掲げている廃棄物処理施設整備状況は。❷家畜糞尿処理施設整備状況は。❸ホタテ貝殻処理対策の今後について。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶平成5年度に水産加工汚泥焼却を、平成9年度にホタテ貝ウロ等を処理する施設を整備している。❷平成11年度までの整備は、尿溜13ヶ所、堆肥盤66ヶ所、スラリー施設2ヶ所であり、12年度及び13年度以降として尿溜20ヶ所、堆肥盤47ヶ所の整備を計画している。❸ホタテ貝殻の有効利用



望まれるホタテ貝殻の有効活用

日本共産党 三谷典子議員

国立療養所稚内病院の存続について

質問 同病院の結核病棟が廃止され、地元患者は他市で長期療養をせざるを得ない状況だが、同病院の統廃合や移譲及び結核病床の確保に対する市長の見解を伺う。

答弁 同病院の存続運動は、あらゆる機会を捉え積極的に運動してきた。しかし、国は行政改革の係わりから施設の廃止を含む対処決定を打ち出している。市としても貴重な医療資源を失いかねないと認識しており、より現実的に判断していく。また、結核病床の確保については、地域医療の充実のため重要な問題と認識しているが、大きな財政負担を抱えることでもあり、今後慎重に検討していく。

高齢者保健福祉計画と介護保険について

質問 介護保険制度開始まであと4ヶ月をきったが、❶政府案である介護保険の「特別対策」に対する市の見解は。❷特別養護老人ホーム富士見園の待機者数は。❸介護基盤整備を今後どのように取り組んでいくのか。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶全市町村が介護保険制度の導入の準備を行っている中、政府が各市町村の意見も聞かず特別対策を決定したことは極めて遺憾であり、全国市長会として二度とこのようなことを繰り返すことなく、また今回の特別対策の具体的内容を早急に明示するよう政府に要請してきた。❷現在の待機者は41名おり、老人保健施設入所者が16名、療養型施設に1名、医療機関入院中が13名、在宅待機者が11名となっている。❸平成12年4月の介護保険導入に向けて社会福祉法人によるデイサービスセンター、痴呆性老人グループホームの開設が予定されている。さらに民間事業者による配食サービスの実施準備が進んでおり、サービスの充実が図られると認識している。更に特別養護老人ホームの増床や除雪サービスの充実・24時間のホームヘルプサービス体制の確立など今後協議していく。

ミレニアムイベントについて

質問 西暦2000年の到来を目前にミレニアムイベントを計画する自治体が相次いでいるが、観光端境期のイベントに悩んでいる本市においてもミレニアムイベントについて考える必要があるのではないか、市長の見解を伺う。

答弁 歴史の大きな区切りである西暦2000年を迎え、その時の市政を担当する者として後世に何か残せるような企画を現在検討している。現時点では具体的なプランは説明できないが、日本の最北端である稚内市の可能性や役割、あるべき姿を全国に発信できるような企画になればと考えている。

その他の質問事項

- ムダ・ゼロ
- エゴ・ゼロ
- 緊急地域雇用特別交付金
- 少子化対策臨時特別交付金
- ペイオフ対策
- 平和問題
  - (1)ホームビジット
  - (2)日本の原子力発電
  - (3)幌延深地層試験研究所計画
- 農業問題
- 結核予防対策

政友会 石塚公次議員

サハリン沖油田開発に伴う油流出事故について

質問 本年7月、サハリン大陸棚石油・天然ガス開発計画「サハリンⅡ」が原油生産を開始した。9月には原油積み出し輸送が始まり、両国の今後の経済発展において大きな意義をもち、地域的に最も近い本市として、本プロジェクトの進展には強い期待を寄せているが、❶油流出事故の防止対策は。❷情報連絡体制は。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶北海道とサハリン州が環境協定に仮調印し、両者が直接連絡体制を持つことになり、このルートを通じて事故の未然防止についてサハリン側や関係企業に強く要請し、市民の不安を少しでも解消するよう積極的に対応していく。❷本市も参画している「サハリン沖油田事故災害対策沿岸都市協議会」が道に対し、早急に対策を講じるよう強く要望し情報連

絡体制の確立に向け努力する。

交通安全問題について

質　問　本市は昭和37年に安全都市宣言を行なったが、制定から既に30数年経過している。この間、交通事故が多発し、社会問題化しているが、❶安全都市宣言の条文の見直しの考えは。❷新たな観点にたっての交通安全都市宣言の考えは。これらについて、市長の見解を伺う。

高校生による旗波作戦

答　弁　❶今日の交通事故、火災産業災害の多発傾向から、今一度、宣言の趣旨を市民に周知し、小中学生に対しては、要旨の分かりやすい説明や広報紙によるPR、交通安全広告塔の看板文字を「安全都市宣言のまち」に変更し、市民をはじめ本市を訪れる人々にも周知を図っていく。❷現在、制定している「安全都市宣言」と整合性があるため、新たに制定するか検討する。

市政クラブ　小林美和子　議員

宗谷畜産開発公社の経営問題について

質　問　健全で安定した経営の軌道に乗せることが、厳しい経営環境に置かれた酪農家にとって大きな励みになると考えるが、❶平成11年度の決算見込みは。❷乳用雄牛肥育への取り組み状況は。❸天塩町のと畜場の進捗状況は。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶上半期の実績では、年度当初の経営計画と比較し、上回る実績が示されている。❷現在、市内両農協から全面的な協力を受け、地域内分業の形で、地元酪農家に預託し共存を目指している。❸管理主体である北海道畜産公社・農業団体などから情報を収集し、施設の有効利用を検討する。

問われる宗谷畜産開発公社の経営方針

サハリン事務所について

質　問　サハリンにおける地下資源開発がもたらす経済波及効果は、本市経済の活性化に確かに寄与している。しかし、国・道の姿勢が明確になっていない中で市が先行して進んでいるが、❶事務所開設の目的と運営方針は。❷地元企業のサハリン進出の支援策は。❸サハリン沖油田開発に伴う油流出問題に対する対策は。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶情報収集や、ポートセールスをはじめ、現地でのPRや、経済界・文化団体等の具体的な支援体制の強化を目指し、商工会議所と共同で事務所を開設しビジネスセンター的事務所を考えている。❷新しい支援制度も視野にいれて検討する。❸現地事務所のメリットを最大限生かし、迅速に対応する。

その他の質問事項

- 畜産環境問題
- 排泄物の処理問題
- 廃棄物処理問題
- 産業振興
  - (1)漁業振興
  - (2)観光振興
- 特別養護老人ホーム富士見園の事業団委託の問題
- 2000年問題
- 新年度予算
- 児童遊園問題

市民改革ネット　東方豊松　議員

開かれた稚内市を進める情報公開条例について

質　問　国の情報公開法、道の情報公開条例が制定され、時代のニーズに応えるべき改善が求められているが、❶本市の政策決定過程の取り扱いは。❷知る権利等の条例上の明記は。これらについて市長の見解を伺う。

答　弁　❶政策決定過程の情報は現在、検討中の条例案で非公開事項に該当する項目として取り扱っているが、今後の会議の中で十分に検討、審議していく。❷市の保有する情報は市民の共有財産という認識に立ち市民の知る権利として公文書の公開を求める権利の保障、市政の諸活動についての説明責任を条例に明文化し、開かれた市政の実現、市民参加による監視機能の充実と市民生活の向上等へつながる本制度実現に向けて取り組む。

旧国鉄・天北線跡地活用策について

質　問　旧天北線は石炭、木材、ジャガイモ、水産物の出荷でにぎわい、1989年に廃止されるまで、地域住民の大切な生活の足になっていた。廃線跡地の利用は、一部潮見地区道路等に活用の事例はあるが、ほとんど利用されていないのが現状である。この跡地を自然を生かした森づくり等を行い、学校教育・社会学習や住民の健康づくり、強いては地域文化の発展等の場として再生させ、また、体験型観光資源等にも育てていくべきと考えるが、市長の見解を伺う。

往時の天北線で活躍した蒸気機関車

答　弁　❶近年のライフスタイルの多様化や地球環境問題に伴う自然保護意識の高まりのなかで、色々な活用方策が考えられ、今後それらに対応していくためにも、跡地が持つ可能性は大きいものがあり、長期的視野に立って利活用の検討をする。

その他の質問事項

- 新世紀稚内づくりの戦略
- 都市計画とゾーン構想

各特別委員会から

議案特別委員会では各会計補正予算等の審査を、2つの決算特別委員会では水道・病院の企業会計決算、一般会計等の審査をそれぞれ行いました。主な質問要旨を紹介します。

議案特別委員会

一般会計補正予算

●Eメールの構築は行革のOA化に合わせ年次計画が必要でないか。
●ホームページにメールがきたときの受入れ体制やウイルス対策は。
●日ロフェリー定期航路の補助は単年度で対応していくのか。また旧樺太の利用者に助成の考えは。
●定期航路開設経費の確認方法は。また、補助率はどう決定したのか。
●幼児虐待問題は民生児童委員等と連携して対応すべきでないか。
●母子の電話相談対応は専属が必要と思う。専用窓口開設の考えは。
●重度身体障害者日常用具の給付対象範囲を拡大できないのか。
●精神障害者がデイケアに通う交通費に助成する考えはないか。
●介護保険認定の一次判定と二次判定の変更率が高いがその見解は。
●介護保険の各サービス事業者名とサービス内容を公開できないか。
●天塩にある道北食肉センターで宗谷畜産開発公社の肥育牛を処理すべきでないか。
●冬期間に開催する各種イベントの経済効果を調査すべきでないか。
●稚内サハリン村は観光面にこだわっていると思う。市民の利用し易い時間帯の設定も必要でないか。
●観光事業の推進に行政と観光協会との役割を位置付けしてるのか。

決算特別委員会

企業会計

●健全経営に向けた課題を明確にし具体的な計画案を示すべきでないか。また、職員に周知し意識させるべきでないか。
●医薬分業に伴い外来患者には薬剤師が服薬指導を行なっているか。
●患者に対する病院スタッフの接遇指導や改善にどう取組んでるか。
●収益が減少の中で看護婦を増員してるが、今後何名必要なのか。
●夏期間病棟の湿度管理や除湿対策はどのように行なっているか。
●食事後の下膳を患者が行なってるが改善すべきでないか。
●病棟婦長の病室巡回は徹底してるのか。
●救急外来待合室の改善にこれまでどのように取組んできたのか。
●外来患者が待合時間を有効に活用できる対策が必要でないか。
●水道工事等の完了後は施工箇所の点検を徹底し路面の悪い所は早急に対応すべきでないか。
●水道水源の保全条例は必要である。制定に向けた取組姿勢は。

一般会計等

●免許更新時講習の講師に行政が資質向上の指導はできないか。
●住居表示の住宅番号に重複等があるので改善すべきでないか。
●東京直行便冬季支援対策事業を今後も継続するのか。また、新たな支援策を検討する考えはあるか。
●沿線の地域集会所改修費の地元負担割合を見直すべきでないか。
●情報の積極的な開示に向け広報紙をより分かり易く改善しては。
●末広交番設置の要請を今後も継続していくのか。
●保育所運営による超過負担の解消を国へ働きかけているのか。
●ゲストハウス「トナカイ」をイベント時に夜間開放すべきでないか。
●夜間照明設置の3球場を維持費からみて運用方法を検討しては。
●若葉公園駐車場の長期間無断使用に対し管理を徹底すべきでは。
●生徒が故意で校舎を破損させた場合の賠償請求は行なっているか。
●各学校から主任の命課が道や市教育委員会へ報告されているか。
●温水プールの維持管理費を抑制すべきでないか。

採択された請願・陳情及び要望意見書

林政の基本問題に関する要望意見書

景気の低迷等から森林・林業・木材産業の将来に大きな危機感があるので、山村の活性化や担い手育成及び木材の需要拡大等の林政に関する法整備を強く求める。

臍帯血利用料の保険適用等を求める要望意見書

臍帯血治療を受ける際に、臍帯血利用料に保険が適用されず臍帯血の保存・管理等に要する費用がそのまま患者に転嫁され負担が大きいので保険適用等を強く求める。

健全な高度情報通信社会構築のための法整備促進に関する要望意見書

インターネットによる犯罪が急増している。厳しく対処し健全な高度情報社会構築のためにも法整備の促進を強く求める。

骨髄移植に対する医療保険の適用拡大に関する要望意見書

白血病などの患者・家族が経済的負担から免れて闘病に専念でき、さらに公的医療バンクが健全な運営を確保するために、骨髄液の保険適用を強く求める。

深刻な雇用・失業情勢に対応した労働行政の充実・強化をはかる旨の意見書採択を求める請願及び要望意見書

深刻な不況に対応するため、労働行政の専門性・独自性を重視し、職業安定行政、労働基準行政、女性少年行政の充実等を求める。

新たな食料・農業・農村基本法の具体化と食料安全保障の確立を求める請願及び要望意見書

食料・農業・農村基本法の制定やWTO次期農業交渉を機会に、新たな農産物貿易ルールの確立等の実現を強く求める。

地方分権の推進と自治体財政確立のための地方財政改革を求める請願及び要望意見書

自治体は厳しい財政運営を強いられる一方、行政ニーズはますます拡大している。自治体財政確立のため地方税改革を強く求める。

国立療養所稚内病院の廃止・経営移譲をやめ、国立医療機関として存続・拡充し、地域医療の充実を求める請願及び要望意見書

宗谷地方の地域医療を充実させるため、国立療養所稚内病院を廃止せず存続・拡充等を強く求める。

平成12年度税制改正及び行財政改革に関する要望

平成12年度の税制改正要望に当たり、企業が置かれている現実や日本経済の状況を考慮し、地方制度と地方税制の改革・行財政改革の徹底等に取組むよう要望する。

本会議と各委員会の出欠状況

区分 / 議員名	席き数・出すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数	区分 / 議員名	席き数・出すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数
石塚　公次	7	7		館農　恒一	18	18	
岡本　雄輔	12	10	2（私）	中井淳之助	17	17	
小林侃四郎	8	8		藤谷　良幸	10	8	2（私）
田森　和文	18	18		山田　繁春	9	1	8（病）
前田　修悦	18	17	1（私）	生田目幸男	15	14	1（私）
河合　慎一	12	12		長谷川喜市	10	10	
河野　至緒	10	10		松本　勝利	12	10	2（私）
小林美和子	11	11		斉藤　信義	9	9	
菅原　清治	7	7		三谷　典子	16	15	1（私）
竹村　海一	10	10		魚住　光信	17	17	
三宮　正人	18	18		東方　豊松	18	17	1（私）
越後谷亮一	14	14					
鈴木　茂行	11	11					

注：(1)出席すべき日数は、11月１日から１月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

議会日誌

11月

5・石垣島まつり（沖縄県）議長出席
8・西宮市議会議員来局
9・全国市議会議長会基地協議会北海道支部総会（旭川市）
11・**民生文教常任委員会**
15・**総務常任委員会**
16・**建設産業常任委員会**
17・決算特別委員会
18・決算特別委員会
22・**民生文教常任委員会**
25・**議会運営委員会**
29・**第７回定例会（本会議）**
30・各種期成会秋季合同要望会（東京都）

12月

2・**議会運営委員会・本会議（一般質問・ナイター）**
3・**本会議（一般質問・ナイター）**
6・議案特別委員会・**議会運営委員会**
7・議案特別委員会・議会だより編集委員会
8・決算特別委員会
9・**議会運営委員会**・決算特別委員会
10・**本会議**・代表者会議
29・**議会運営委員会**

1月

17・銚子市議会議員来局
20・**総務常任委員会**
26・石岡市議会議員来局

議会を傍聴しませんか

☆手続きは簡単です☆

◆お問い合せは
議会事務局
（☎23－6161・内線281）まで

３月定例会の日程

2月28日　◇**本会議**
・一般行政報告
・市長市政執行方針
・教育長教育執行方針
・予算・条例・単行議案・新年度予算の上程
・補正予算特別委員会
29日　◇休会
3月1日　◇休会
2～3日　◇**本会議（ナイター議会）**
・代表・一般質問
4～7日　◇休会
8～10日　◇新年度予算・議案特別委員会
・総括質問
11～12日　◇休会
13～14日　◇新年度予算・議案特別委員会
・予算・条例・単行議案の審査
15日　◇**本会議**
本会議は5階議場で、各特別委員会は5階正庁の間で開きます。
ナイター議会は18時開会です。

子供に安全！親に安心！チャイルドシート

編集後記

2000年は、雪の少ない穏やかな幕開けとなりました。稚内市も新市長になり、一月末には行政機構の見直しが示されました。沢山の難問を抱えている稚内市ではありますが、そんな変化が議会にも、良い意味での緊張感をあたえております。理事者と議員お互いが納得出来るまで議論し、風通しの良い議会運営が出来ればと思います。今年は衆議院選挙もあります。市民の皆様には今まで以上に政治に興味をお持ちいただくようお願い致します。二十一世紀に向けより暮らしやすい心暖まる明るいまちづくりをめざし、皆様にとりましても良い一年でありますよう、共に頑張りましょう。議会へのご意見、ご質問、そして、皆様のお知恵をお待ちしております。

編集委員一同